



第 406 回 つくば分子生命科学セミナー

TSUKUBA MOLECULAR LIFE SCIENCE SEMINAR

演題：複数の Rab により制御される Varp の多様な生理機能

演者：大林 典彦

東北大学・生命科学研究科・膜輸送機構解析分野

日時：2015 年 1 月 13 日（火） 17:00-18:20

会場：医学学系棟 4 階 4 A 4 8 3 室

要旨：

細胞内のオルガネラや小胞が正しく機能するためには膜輸送が適切に行われる必要があり、この過程には Arf や Rab などの低分子量 G 蛋白質が関与する。我々は、色素異常症の原因である Rab38 およびそのホモログ Rab32 のエフェクター分子として、Varp (VPS9-ankyrin-repeat protein) の単離を行い、メラノサイト内で Varp は ANKR1 ドメインを介して Rab32/38 と結合しメラニン合成酵素の輸送を促進すること、そして VPS9 ドメインを介して Rab21 を活性化することでメラノサイトの樹状突起形成を促進することを見出してきた。さらに最近、ANKR2 ドメインを介した Rab40 との結合が Varp を分解に導くことも見出しており、従来の概念とは一線を画す Rab の新機能を明らかにしつつある。本セミナーでは、複数の Rab により制御される Varp の多様な生理機能について最近の知見を紹介したい。

連絡先： 筑波大学医学医療系 金保 安則 (内線 3282、ykanaho@md.tsukuba.ac.jp)

* TSMC セミナーは、フロンティア医科学専攻 (修士) 「医科学セミナーII」 (担当：久武 幸司)、生命システム医学専攻 & 疾患制御医学専攻 (博士) 「最先端医学研究セミナー」 (担当：熊谷 嘉人、武川 寛樹) 及び「医学セミナー」 (担当：専攻各教員) の関連セミナーに相当します。

【筑波分子医学協会 (TSMC) 主催】 HP <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tsmm/>

TSMC セミナー担当 筑波大学医学医療系 山下 年晴